

くくりわなによる捕獲の実施について

■目的

大台ヶ原におけるニホンジカの平成 22 年度の目標捕獲頭数は 70 頭である。これまでに 28 頭捕獲されたが、ドライブウェイ閉鎖期のみの捕獲では、目標の達成は難しいことが予想されている。

また、昨年度の結果から、6 月後半以降はオスの捕獲が増えていた。個体数調整を行う上ではメスの捕獲が重要なため、くくりわなによる捕獲の雌雄比の月別の変化をモニタリングし、高山帯における今後の捕獲時期の検討を行う必要がある。

こうした状況を踏まえ、ドライブウェイ開放期に安全性を確保しながら、くくりわなによるニホンジカの効率的捕獲の実行性の確認を目的として捕獲を実施する。

■実施期間

わな設置期間：5 月～11 月

※注) 利用者の安全性を考慮し、利用者が多い時期は土日の稼働を停止。

■方法：くくりわな

- ・わなの種類：シシキラーを主とするが、捕獲の効率性及び安全性がより優れていると思われるものを適宜使用する
- ・シカの警戒状況や利用者およびシカ以外の動物（イノシシ、クマなど）の状況を確認するため、赤外線自動撮影カメラ（動画）を設置
- ・毎日 1 回の見回り、個体回収を早朝に実施

■ 設置場所及び基数

- ・わなを学習させないよう地域内（図 1）で順次移動
- ・ドライブウェイ、登山道から目視できない場所に設置
- ・利用者が立ち入りやすい場所を避けて設置
- ・1 か所につき 5 基程度を設置

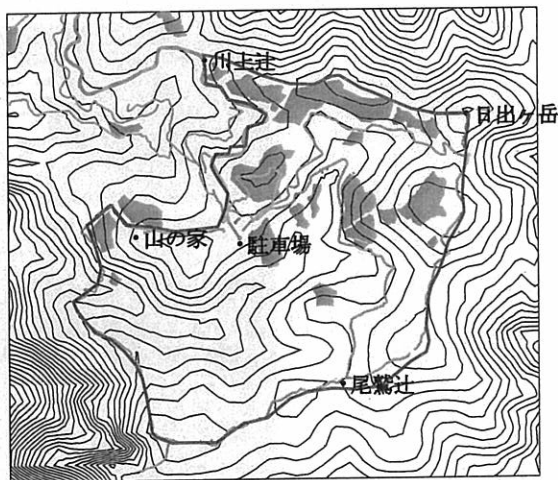


図 1 捕獲実施区域
(□：捕獲実施区域 ■：防鹿柵)

■ その他

①安全性対策

- 保険の加入
- 注意標識の設置（※別添 1 参照）
- 関係者への周知徹底

②捕獲個体の処理

捕獲された個体は、保護管理上の基礎データ収集のために必要な部位（腎臓、第一切歯、子宮など）を採取したのち、処理施設にて埋める。

■請負者：(財) 自然環境研究センター